

重点テーマ5

地域社会との共生

2020年のあるべき姿

ステークホルダーの声に耳を傾けながら、
地域社会の発展に貢献している

優先的に取り組むべき課題

- 地域社会とのエンゲージメント
- 生物多様性の保全

優先的に取り組むべきと考える理由

東洋ゴムグループは企業活動に関わるすべての人びと（ステークホルダー）と喜びを分かち合い、豊かな社会づくりに貢献することを目指しており、対話と協働による社会的課題の解決と、地域社会の発展への貢献を、優先的に取り組むべき課題と位置づけています。

方針

東洋ゴムグループが将来にわたり持続的に発展していく上で、環境問題の克服、人材の確保、地域経済の安定的発展は不可欠と考えています。そのため、当社グループが持つリソースの活用とさまざまなコミュニケーションを通じたステークホルダーとの協働により、事業活動が影響を及ぼす範囲における環境保全や次世代育成支援、地域社会の発展に貢献することで、地域社会との共通価値を創造していきます。また、事業規模の拡大に伴い、特に環境インパクトが大きいと予想される製造拠点では、その周辺地域の生物多様性への影響の増大リスクに対して、予防原則アプローチで取り組んでいます。

基本的な考え方

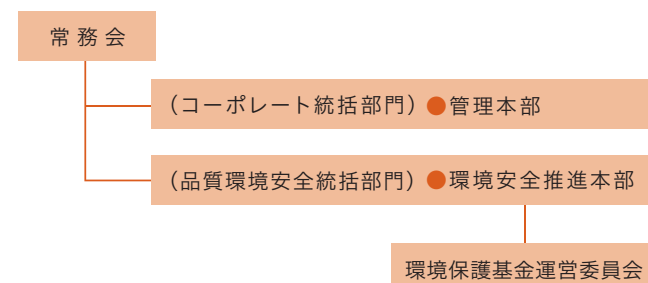
目標

ステークホルダーとの協働によって社会的課題を解決し、共通価値の創造を目指します。

責任

コーポレート統括部門管掌執行役員

活動推進体制 ※国内



※海外（関係会社）においては、各国や地域の社会的課題に応じて、社会貢献活動を推進

地域社会とのエンゲージメント

東洋ゴムグループは事業活動を通じて、地域の経済・環境・社会に対して直接的な影響を及ぼすものと理解し、社会からの評価および期待を真摯に受け止めるとともに、すべての事業所において、積極的な情報発信や対話機会の創出など、地域社会とのコミュニケーションを重視しています。そしてコミュニケーションを通じて得られたステークホルダーのニーズを正しく理解し、経営に反映するよう努めています。

例えば、当社の仙台工場では毎年「地域ふれあいフェア」を開催し、地域の方々への感謝の気持ちをお伝えしています。来場者からの好評をいただいている工場見学会では過去最多の260名にご参加いただき、当社のモノづくりを通じて交流を深めました。



「地域ふれあいフェア」の様子



環境保全への取り組み

東洋ゴムグループは事業活動を通じて、特に製造拠点の周辺地域の環境に対して、最も大きな直接的な影響を及ぼすものと理解しています。そのため、製造拠点では周辺地域のステークホルダーとの対話と情報発信によって、事業活動に対する理解と信頼を築くとともに、物理的・心理的環境負荷低減のための活動に取り組んでいます。そして生物多様性は地域の暮らしに直接的な利益をもたらす、持続可能な発展にもつながるものとして、地域の生物多様性保全を推進しています。

例えば、東洋ゴム工業株式会社の桑名工場では、NPO法人「森林（もり）の風」の協力を得ながら、近隣の放置雑木林を健全な森林に整備する「TOYO TIRES 緑のつながり・三重」に取り組んでいます。

2017年度は従業員とその家族計102名（うち子ども22名）が整備活動に参加し、植樹や雑木林の伐採、ゴミ拾いなどを実施しました。当日は参加した子どもたちを対象に環境教育も開催しました。

また、当社はWWFジャパン事務局など国際環境NGOと定期的に面談を行い、取引先を含むサプライチェーン全体の地球規模の森林保全の在り方について、意見交換を行っています。



「TOYO TIRES緑のつながり・三重」の森林保全活動の様子

TOPICS

公益社団法人日本フィランソロピー協会と環境保全に関するパートナーシップを開始

東洋ゴムグループ環境保護基金は、1992年に地球および地域社会の一員としてよりよい生活環境を実現するために貢献したいと考える従業員等の意志のもと、環境問題に取り組む国内外の環境保全活動に携わる団体および活動に対して資金援助を行うことを目的として設立されました。そして、本基金の新たな外部助成先選考委託機関として、公益社団法人日本フィランソロピー協会を迎え、当協会を介した環境保全に関する認定NPO団体や、その団体が行う事業への助成を開始しました。

2018年度は当協会に選定いただいた5団体に対し、総額500万円の助成を行います。

ステークホルダーコメント

東洋ゴムグループとともに豊かな自然環境を再生し、持続可能な社会創生を目指します

環境課題は様々な要因があり、解決には専門の団体のみが活動するだけではなく、地域の住民をはじめ様々な資源を活用し、その中でリーダーシップを発揮する団体が活躍する時代です。志高く真摯に活動をしている団体に光をあてることで、全国各地で同様な活動が広がり、より豊かな自然環境を再生し、持続可能な日本社会の創生につながる助成プログラムに成長させていきたいと思っています。

公益社団法人
日本フィランソロピー協会
高橋 陽子 理事長



次世代育成支援

東洋ゴムグループは地域社会が持続的に発展していく上で、次世代を担う子供たちの健全な育成が社会的課題の一つであると考え、次世代育成支援のための寄付を行っています。

例えば、マレーシアのタイヤ製造会社Toyo Tyre Malaysia Sdn Bhdは、勉学意欲が高くても、経済的理由により十分な学習環境に恵まれていない生徒を対象とした「奨学金プログラム」を実施しています。2017年度は本事業に対し48,000USDを支出しました。



奨学金プログラムを受ける学生みなさん

地域社会の発展に向けた支援

東洋ゴムグループは地域社会を構成する一員の責任として、地域経済の活性化や被災した地域の復興に向けた支援を行っています。

海外においても、例えば欧州タイヤ販売統括会社Toyo Tyre Europe GmbH（ドイツ）は、デュッセルドルフで毎年開催されている日本とドイツの交流イベント「Japan-Tag」を、地元のサッカーチームとともに協賛しています。



Japan-Tagの様子

TOYO TYRE & RUBBER AUSTRALIA LTDがAFLのジュニアチーム支援のためのイニシアティブを設立

AFLチームのGWS GIANTSを支援しているTOYO TYRE & RUBBER AUSTRALIA LTDが、オーストラリアのAFLのジュニアチームを支援し、将来、国を代表するAFL選手へと育成することを目的として、the Kick for Cash for Clubs initiativeを設立しました。

当イニシアティブでは優勝したジュニアチームに対し、賞金10万ドルとプロチームと一緒に練習できる権利、およびトレーニングギアを提供します。



支援しているAFLジュニアチーム